

滋賀県庁別館（現：県庁新館）

所在地
構造規模
基礎地業

大津市京町四丁目 1 - 1
S R C造地上7階地下1階塔屋2階
場所打ち鉄筋コンクリート杭

延床面積 8,888.85㎡
工期 昭和48年1月～昭和49年10月



県庁内の業務の増大や多様化により、本館の執務室が手狭になってきたことや、事務処理の情報化時代に向かって先取りした行政機能を確保するため、庁舎敷地内に高層の新庁舎が建設された。当時の事務所ビルの計画千法にあわせ、執務室を南北に並べ両端部にコアとなる共用室等を配置した平面計画となっている。

構造は、高層部に情報管理機器等の重量物の諸室があるため、耐震上の配慮から全階層の半分を鉄筋コンクリート造とし、基礎杭については現場施工の大径コンクリート杭を施工した。工事にあたっては、敷地内の高低差が一階分ありかつ上部は道路となっていたため、土圧に対する補強と地下階掘削に伴う湧水等に対する施工仮設において請負者の技術力が発揮された。新庁舎の建築に伴い設備面でも旧庁舎を含めた改善がされ、新しい庁舎機能への転換を先取りした建築となった。

機械金属工業指導所（現：東北部工業技術センター技術第二科）

所在地
構造規模
基礎地業

彦根市岡町
R C造地上3階
既製鉄筋コンクリート杭

延床面積 1,064.68㎡
竣工 昭和49年3月



昭和35年から開設されていた機械工業の産業指導施設の機能拡大に伴い、試験研究機器の関係諸室のほか研修、関係機関団体等の会議のため新たに新築整備された。彦根近辺にはパルプをはじめとする中小の金属機械産業が多く、企業内での研究開発を指導支援し、県内主要産業をバックアップする大きな役割を果たしている。狭陰な敷地でJ R琵琶湖線に隣接した道路際に建設されたこともあり、配置計画や壁面デザインにも工夫をした。

森林センター

所在地
構造規模
基礎地業

野洲郡野洲町北桜978-95(現:野洲市)
RC造地上2階
既製鉄筋コンクリート杭

延床面積 984.41㎡
竣工 昭和47年10月



三上山のふもとと野洲町の希望ヶ丘文化公園に隣接して、林業の研究機関である森林センターが建設された。当施設は第1次産業として年々厳しさが進む山林業界に対し、新しい技術の指導や関連産業等への試験研究を進め、業界への普及啓発、情報発信の基地として活動している。

建物は中規模でありながら、外壁面をタイル貼りとした整然としたデザインにまとめ、2階部分に管理研究部門諸室、1階に試験関係諸室等を配置し、別棟の附属建物等との連携が考慮されている。林業の啓発に、また、小学生児童への体験研修にも活用されている。

県立彦根スイミングセンター（彦根総合運動場）

所在地
構造規模
基礎地業

彦根市松原町3028
RC造、S造地上2階
既製鉄筋コンクリート杭

延床面積 2,911.05㎡
工期 昭和48年7月～昭和49年5月



県立の運動総合施設として彦根市に設けられていたグラウンド、野球場に隣接して、水産試験場移転跡地に新たに水泳競技の総合施設として建設された。屋外に公認施設となる50Mプールのほか、児童・生徒プールが設けられ、建物内には温水25Mプールのほか関係団体会議室、管理関係諸室が設けられている。管理棟屋上は屋外プールを観戦できるようにし、大きな大会においては仮設スタンドの設置も可能とした。建築は温水プールを鉄骨の大屋根とガラス壁面で構成し、管理棟は低層でまとめられ、総合運動場のシンボリックな建物となった。

工事においては、建設地が松原内湖の埋立地でもあったことから、基礎地業への配慮がされた。また、設備においては、温水プールの熱源関係、プール循環浄化関係機器等の設置に苦慮した。

農業試験場

所在地	蒲生郡安土町大中516(現:近江八幡市)	延床面積	5,589.00㎡
構造規模	RC造地上2階	工期	昭和48年7月～昭和49年6月
基礎地業	既製鉄筋コンクリート杭		



琵琶湖の内湖であった大中の湖を農業振興のため干拓した結果、大規模農家が入植し農業団地が形成された。当施設はその一角に位置し、農業の多角化や品種改良等の新しい技術の普及をはじめ、各種種苗の試験栽培等を行う、広い試験農場を備えた農業県滋質の育成の拠点である。

建物は2階建てで各種試験関係室を相互の関連を持たせるため横に長く配置し、実験、実習関係室は農場との関連もあり1階部分に配置した。周囲を広大な農地に囲まれた環境にある建物で、低層にまとめられた明るい雰囲気のある建物となっている。

荒神山少年自然の家

所在地	彦根市日夏町宮前4794	延床面積	2,014.29㎡
構造規模	RC造地上3階	工期	昭和49年12月～昭和50年12月
基礎地業	既製鉄筋コンクリート杭		



小学生等の児童が野山の自然の中で過ごすことが出来る教育施設として、彦根市郊外の荒神山麓の林の中に建設された施設である。山沿いの道路をアプローチとして建物玄関に導かれる、敷地の高低差を有効に生かした施設である。

宿泊室を中心に研修室、食堂、浴室等を上下階に配置し、別棟で集会や室内競技の出来る講堂を設けた。屋外には自然観察に利用できるスペース等も整備され、施設利用の自由度を高めている。建物は、周りの森に溶け込むように寄せ棟勾配屋根としている。施工時には敷地や進入路の整備が未完の状態であったため、杭地業等大型機械の搬入にも苦労があった。

三島池ビジターセンター

所在地
構造規模
基礎地業

坂田郡山東町（現：米原市）
RC造地上1階
既製鉄筋コンクリート杭

延床面積 342.63㎡
工期 昭和49年7月～昭和50年1月



伊吹山のふもとにあって、大東中学校生徒による鴨に代表される渡り鳥の観察と飼付けによって全国に知れわたるようになった、山東町三島池畔に建設された施設である。渡り鳥の観察をはじめ、野生動物の生活の展示もあり、来館者は自然について学ぶことができる。

池の畔に位置し、松林にふさわしい和風様の外観で、屋根は寄せ棟の瓦葺とし、棟部分には渡り鳥を形どった棟飾りを取り付けるなど、来館者がなごむ工夫もされた。

特別養護老人ホーム（福良荘）

所在地
構造規模
基礎地業

東浅井郡浅井町内保（現：長浜市）
RC造地上2階
既製鉄筋コンクリート杭

延床面積 1,200.06㎡
工期 昭和49年7月～昭和50年3月



旧整肢園が移転した跡地に、日常活動が不自由な高齢者を収容し、共同生活する老人ホームとして建設された。入居者の日常の行動を十分配慮し、安全な歩行のため傾斜の少ない広く明るい廊下を配置するとともに、大部分の時間を過ごす居室部分は南面に明るく開けた配置計画とした。また、介護する職員の負担を軽減するような構造、設備に心がけた。

建物の外観は低層で平面的に横へ広がっており、勾配屋根でやわらかさを演出している。

長浜文化芸術会館

所在地
構造規模
基礎地業

長浜市大島町大島37
RC造地上2階
既製鉄筋コンクリート杭

延床面積 2,939.50㎡
工期 昭和49年7月～昭和50年10月



県内の演芸活動等、文化事業の発表の場として各地域に拠点施設を順次整備することとなり、当施設はその1号館として湖北の中心地、長浜市に建設された。敷地は長浜城公園に隣接した湖岸で、建築計画でも湖面に舞台の大きな外壁面が映えるように考えられた。

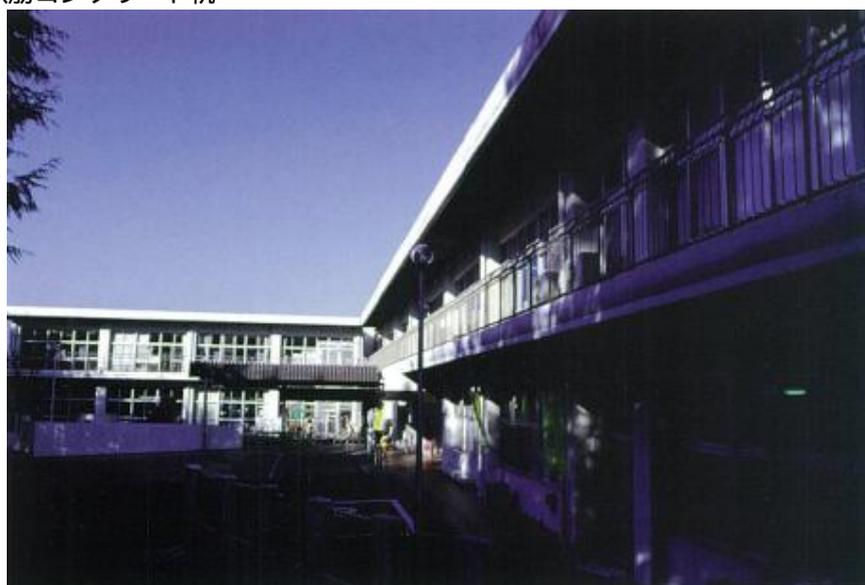
施設は500名収容のホールを中心に、絵画等の展示室、研修室が設けられ文化事業の交流や支援に活用できるように計画された。

三雲養護学校

所在地
構造規模
基礎地業

甲賀郡甲西町柑子袋1546(現:湖南市)
RC造地上2階
既製鉄筋コンクリート杭

延床面積 3,433.02㎡
工期 昭和52年12月～昭和54年2月



当施設は湖南地区からの通学を容易にするために、旧甲賀郡甲西町に建設された。また、児童福祉施設の近江学園が、隣接した旧石部町にあり、通所にも便利である。

建設地は山林の一部を切り開いた静閑な環境であるが、敷地が変形した三角地で、生徒の行動に支障とならないようにするため、校舎の配置計画に苦慮した。低学年、児童の教室は外部に砂場等自由な空間とつなぎ、2階への移動には緩勾配のスロープを計画した。

施工時においては、山麓の軟岩が点在しており、基礎杭の施工をはじめ躯体工事でも各所でこれが支障となるなど、苦労も多かった。

安曇川文化芸術会館

所在地
構造規模
基礎地業

高島郡安曇川町上小川106(現:高島市)
RC造一部S造地上2階
既製鉄筋コンクリート杭

延床面積 2,408.21㎡
工期 昭和53年3月~昭和54年3月



文化芸術会館2号館として、湖西地区の旧高島郡安曇川町に建設された。建設地は近江聖人中江藤樹を祀る藤樹神社に隣接し、施設の外観にも周辺環境に合わせた風格を持たせたものとして計画された。ホールの大屋根は、湖内地方の雪を考慮し、片流れとし雪止めに工夫を凝らした。

埋蔵文化財センター

所在地
構造規模
基礎地業

大津市瀬田南大萱町1732-2
RC造地上2階
既製鉄筋コンクリート杭

延床面積 2,024.05㎡
工期 昭和53年12月~昭和54年3月



宅地開発等によって県内各地から発掘される埋蔵文化財の調査整理をはじめ、文化財等に関する啓発、情報発信を進める施設として建設された。

建設地は文化公園の一角で静かな環境の中にあり、資料の展示、情報提供部門と県内各地から持ち込まれた発掘文化財の調査整理部門で構成され、調査後の資料の収蔵も分類別に整理されるようになっている。

また、建築のデザインは、先に建設された隣接の県立図書館と類似のものとし、一連の関連性をもたせた。

草津合同庁舎

所在地
構造規模
基礎地業

草津市草津三丁目14-75
RC造地上4階
既製鉄筋コンクリート杭

延床面積 4,454.71㎡
工期 昭和54年3月～昭和55年6月



湖南地区の行政拠点であった旧庁舎が狭隘な市街地にあったことと、行政事務等の多様化、複雑化に伴う執務空間を確保するため、全面移転新築して合同庁舎として住民サービスの向上が図れるように計画された。移転後の建設地は、その後庁舎街として整備される予定があり、国道県道に近い利便地である。

建築計画では、既に建設されている他の総合庁舎と同様、福祉関係機関を1階、土木事務所を2階、県事務所各課を3階に設けた。建物は、各機関を一棟にまとめたことからボリュームもまとまり、構造躯体と外壁のタイル貼りで深みと落ち着きのあるデザインとなった。

県立図書館

所在地
構造規模
基礎地業

大津市瀬田南大萱町1740-1
RC造地上2階地下1階
既製高強度鉄筋コンクリート杭

延床面積 6,580.41㎡
工期 昭和53年12月～昭和55年3月



県内市町村立図書館の中心的機能を持つ図書館として新設された。建設地は大津市瀬田の文化公園内の緑に包まれた閑静な場所で、琵琶湖の眺望もすばらしく、読書環境に恵まれた位置である。

建物は銅板葺きの大屋根と列柱でつくられたバルコニーで、彫りの深い格調ある外観となっている。内部はエントランスホールを2階までの吹き抜け空間とし、壁面には信楽焼陶版レリーフが飾られ、豊かな雰囲気醸し出している。閲覧室は2階の高い勾配天井の広い空間があてられ、落ち着いた環境で読書を楽しむことができる。

八日市文化芸術会館

所在地
構造規模
基礎地業

八日市市青葉町1-50（現：東近江市）
RC造、S造地上2階
直接基礎

延床面積 3,651.86㎡
工期 昭和54年12月～昭和56年3月



湖東地域の文化芸術の拠点として、旧八日市市に県下の第3館目として建設された。八日市市は湖東地域の文化、産業の中心地として発展し、近隣の町にも多くの文化遺産、伝統芸能が残されている。これらの発表の場として手軽に活用されるように建設されたもので、建設地も古くから交通の幹線となっている八風街道に近い場所があてられた。

建物は外壁に緋色の煉瓦調タイルで大きな階段状の形態とし、ホール客席舞台の大屋根のボリュームを和らげている。建物前庭にはアプローチ部分に池を配置し、水と緑の町にふさわしい建物として配慮している。

大津保健所

所在地
構造規模
基礎地業

大津市におの浜四丁目4-5
RC造地上2階
既製高強度鉄筋コンクリート杭（セメントミルク工法）

延床面積 2,109.26㎡
工期 昭和55年10月～昭和56年3月



大津市の観音寺町にあった施設が老朽化してきたことと、業務の多様化に対応するため、琵琶湖岸のおの浜の一団地に建設された。当機関は大津、湖西の保健医療行政の拠点であり、県民生活と密接な関係を持つものである。

建築は、外壁は淡い二丁掛けタイルで一部に陶版レリーフを貼りあげた明るい外観とし、内部も玄関ホールを吹き抜け空間とし壁面は鮮やかな花のレリーフタイルで仕上げた。

商工労働会館（現：県庁東館）

所在地
構造規模
基礎地業

大津市京町四丁目 1 - 1
SRC造地上7階地下1階塔屋2階
既製高強度鉄筋コンクリート杭

延床面積 5,625.00m²
工期 昭和56年3月～昭和57年3月



当館は、県内商工労働団体と県行政の連携を密にするため、新たに建設されることとなった。建設場所は県庁別館（現：新館）の隣接地があてられ、知事公舎と市道に挟まれた狭隘な条件であったが、商工関係団体や県商工関係機関の要望に応えられるように関係諸室の配置計画がまとめられた。

建物は隣接建物との整合を図りながら連絡通路を2、3階に設け、窓側に執務室を配置した中廊下形式とした。最上限には関係団体の集会等のために格調の高い大会議室を設け、その他の階にも会議室、予備室等を配置した。

工事施工においては、地下工事施工に地中連続壁により地下水と土圧を支える方法を採用した。玄関を2階に設けたが、正面近くの桜の古木を残すこととして工事期間も養生をしていたため、館の竣工後もこの桜が毎年見事な花を咲かせている。

水口東高等学校

所在地
構造規模
基礎地業

甲賀郡水口町古城が丘7-1
RC造地上4階
既製鉄筋コンクリート杭

延床面積 1,384.72m²
工期 昭和55年7月～昭和56年6月



旧甲賀郡内の普通高等学校として昭和51年に開校されたが、校舎の手狭さから校地の購入にあわせて新たに校舎を全面改築することとなった。敷地は国道1号線に近い高台にあり展望が開けている。

公舎の配置は各教室を南面するよう並べた平行配置で、入り口部分は生徒昇降場を1階に、校舎玄関を2階にそれぞれ設けた。校舎のアプローチは坂道となっており、公舎の妻部分の玄関に至るため、妻壁を吹付タイルで水をシンボライズしたデザインを採用した。

琵琶湖研究所（現：滋賀県警察本部）

所在地
構造規模
基礎地業

大津市打出浜 1 - 1 0

R C 造地上 3 階

既製鉄筋コンクリート杭（プレオガーセメントミルク注入工法）

延床面積 2,999.94 m²

工期 昭和 56 年 12 月～昭和 57 年 10 月



琵琶湖の水環境の悪化を発端として、琵琶湖とその流域の自然と社会に関する総合的な研究を進めるために、研究企画、情報管理、広報、研究交流のための施設として建設された。

建設地である大津市の琵琶湖岸はかつての湖上交通の要衝の地であり、その昔には湖面に向かって船屋、土蔵が建ち並んでいた場所でもあるため、外観は土蔵をイメージした連棟を瓦屋根と信楽産タイルで白壁に仕上げた。また、建物の各所に琵琶湖をモチーフとしたガラスモザイクや丸形飾り窓を配するなど、繊細な心使いがされていた。

現在は、連棟のうちのひとつが保存され、滋賀県警察本部庁舎の一部として使用されている。

県立近代美術館

所在地
構造規模
基礎地業

大津市瀬田南大萱町 1 7 4 0 - 1

R C 造地上 2 階地下 1 階

既製高強度鉄筋コンクリート杭

延床面積 8,552.35 m²

工期 昭和 57 年 3 月～昭和 58 年 10 月



当施設は、内外の優れた美術作品の鑑賞を通じて美術に対する理解を深め、生活の中に潤いと心の豊かさをもたらすための文化施設として建設されたものである。建設地は琵琶湖文化公園都市（大津市瀬田）の一角に位置し、琵琶湖と比良比叡の山並みを望み、縁ゆたかな自然に囲まれた環境で県立図書館に隣接している。

外観は和風の銅板葺き大屋根と白壁をイメージした信楽産タイルで仕上げ、縁の中に映えるおらかな広がり表現している。

平面計画では、展示部分を 1 階にまとめ来館者に負担のかからないように配慮するとともに、収蔵庫は環境の変化を少なくするため地下部分に設けた。

水口文化芸術会館

所在地
構造規模
基礎地業

甲賀郡水口町水口 5 6 3 3 (現：甲賀市)
R C 造地上 3 階
既製鉄筋コンクリート杭

延床面積
工 期

3,721.62^m₂
昭和 57 年 3 月～昭和 58 年 3 月



旧甲賀郡の文化活動支援のための施設で、敷地は旧市街地のはずれの水口神社に隣接した静かな場所に位置している。

建物は、大きな勾配屋根で山車の蔵をイメージしたものとし、前庭部分には枯れ山水の石庭を設けるなど日本古来の修景が施されている。

旧郡内の呼称「鹿深の里」の文化を伝承、発表する施設として地元の人々の期待を集める施設である。

成人病センター

所在地
構造規模
基礎地業

守山市守山五丁目 4 - 3 0
S R C 造地上 8 階地下 1 階
割栗事業、耐圧版方式

延床面積
工 期

58,153.11^m₂
昭和 56 年 4 月～昭和 58 年 12 月



昭和 45 年に成人病センターを開設し、以後疾病構造の変化、医療技術の進歩に対応するため、新たに病棟を中心とした本格的な増築を行うこととなった。

診療部門の拡大と、新しい技術導入に伴う検査諸施設の整備、投薬システムの改良等、県民の医療需要に応えられるよう計画するとともに、設備エネルギーの総合管理システムも再構築することにより緊急対応に備えた。

建物の外観は、高層棟には庇を兼ねたバルコニーを設け、建物の大きさを和らげるとともに、入院患者の安全に配慮している。

木之本合同庁舎（現：長浜土木事務所木之本支所）

所在地
構造規模
基礎地業

伊香郡木之本町黒田1233-1（現：長浜市）
RC造2階
既製高強度鉄筋コンクリート杭（直打ち工法）

延床面積 2,587.09㎡
工期 昭和57年10月～昭和58年6月



滋賀県湖北部に位置するこの合同庁舎は、木之本土木事務所と木之本保健所、職員会館の3つの機能を併設したものであった。建物は、恵那石の粗面で城郭風を表現し、ポーチの柱は樺肌で、天井は檜の白木張りとした。

戦国時代の古戦場として名高い賤ヶ岳の山麓にあることから、歴史と風格を感じさせる意匠に工夫を凝らし、豪壮さと左右シンメトリーにすることで灼整のとれた形とした。敷地の配置も奥行きを持ち田園の中の城郭として風格の高いものとした。

建物の隅に時計塔を尖塔状にして配置し、その頂部には片鎌槍を立て、屋根は陣笠で7角の稜線を創るなど、7木槍のイメージで地域のランドマークとして親しまれるよう工夫された。

現在は、長浜土木事務所木之本支所として利用されている。

障害者総合福祉センター（むれやま荘）

所在地
構造規模
基礎地業

草津市南笠町深谷63
RC造地上1階
既製高強度鉄筋コンクリート杭

延床面積 4,185.62㎡
工期 昭和57年10月～昭和58年10月



当施設は、近江八幡市にあった肢体不自由者更生施設および障害者更生相談所を湖南の福祉ゾーンに全面移転したもので、肢体不自由者の社会復帰のため、理学療法、作業療法など、障害の程度にあわせた訓練指導を受けられる施設である。利用者の移動が容易に行えるよう、平屋で通路の幅も広く計画している。

フラットな配置による単調さの中、正面玄関部分配置した高い切妻屋根がアクセントとなっている。また、設計にあたっては、建築課職員が関連施設を研究し、随所に利用者への配慮がなされている。

新設5高等学校 (伊吹、河瀬、守山北、甲西、玉川)

伊吹高等学校

所在地 坂田郡山東町朝日302 (現:米原市)
構造規模 RC造地上4階
延床面積 2,098.32㎡
工期 昭和57年6月~昭和58年4月

湖北の遠距離通学を解消するため設置した学校で、伊吹山を望む緑に囲まれた湖北苗圃の一角に建っている。

建物は、教室を南面にした平行配置とし、管理棟部分にはシンボルとなる時計塔を配置している。



河瀬高等学校

所在地 彦根市河瀬馬場町975
構造規模 RC造地上3階
延床面積 2,675.00㎡
工期 昭和57年7月~昭和58年4月

彦根市東部の田園地帯に位置し、校舎は囲み配置とし中庭空間を設けることで、生徒の語らいの場になるよう配慮した。

屋根にまるみを持たせ、柔らかさを表現した。



守山高等学校

所在地 守山市笠原町1263
構造規模 RC造地上3階
延床面積 3,191.90㎡
工期 昭和57年8月～昭和58年4月

野洲川南流近くの田園の緑豊かな環境の中に建つ学校で、シンメトリックな配置とシンボリックな時計塔が風格を持たせるものとなっている。



甲西高等学校

所在地 甲賀郡甲西町針1（現：湖南市）
構造規模 RC造地上4階
延床面積 3,522.90㎡
工期 昭和57年7月～昭和58年4月

野洲川上流の甲西町の田園地帯に建つ学校で、囲み配置とし、まるみを帯びた化柱梁によってやわらかさを表現している。



玉川高等学校

所在地 草津市野路町
構造規模 RC造地上6階
延床面積 4,017.80㎡
工期 昭和57年12月～昭和58年8月

草津市南部の自後地に建つ県下で初めての高層校舎で、建物の外壁をタイル貼りとし、また窓面を外壁面から奥に設けることで、汚れが少なくなるよう配慮する等、耐久性、維持保全面にも心がけた。



県立スポーツ会館

所在地
構造規模
基礎地業

大津市御陵町4 - 1
SRC造地上3階一部4階
既製高強度鉄筋コンクリート杭（セメントミルク工法）

延床面積
工期

3,061.02㎡
昭和58年7月～昭和59年5月



昭和56年に滋賀県で開催されたびわこ国体を記念し、県内のスポーツ振興と各種団体の運営会議をはじめ、県民スポーツの啓発に活用されるよう、国体開催主会場に近い皇子山運動公園の一角に建設された。

外観は緑の多い公園の中で違和感のないよう屋根を洋風瓦にし、また玄関脇の壁面にはスポーツの精神を象徴する鳩のレリーフ陶版や流れる汀のモニュメントが取り汁けられた。

室内はトレーニングルームや小体育室を設け、合宿訓練のために宿泊室も設けられた。

- 27

中央児童相談所

所在地
構造規模
基礎地業

草津市南笠町87 - 10
RC造地上2階
既製高強度鉄筋コンクリート杭（セメントミルク工法）

延床面積
工期

1,657.13㎡
昭和58年9月～昭和59年3月



建設地は、湖南の丘陵地の緑豊かで静かな福祉ゾーンの一部に位置している。県内の児童の生活指導や相談業務を行い、また保護収容を必要とする児童の社会復帰指導をする一時保護所を併せ持っている。

建物の配置は、南面空間をできるだけ広く確保し、ゆったりとした明るい環境に配慮している。また、一時保護所については別棟とし、生活空間としてのプライバシーを確保できる配置とした。

消防学校

所在地
構造規模
基礎地業

神埼郡能登川町神郷 3 1 4 (現:東近江市)
R C造地上 3階
直接基礎

延床面積 8,860.66㎡
工期 昭和58年12月～昭和59年12月



当施設は、県下消防士の教育施設として、また消防活動協議、講習を実施する施設として、消防教育機能の多様化、新技術に対応できるように全面移転新築したものである。

建物は訓練用のグラウンドを南面に配置し、管理部門、教育部門の本館棟、長期宿泊研修のための宿泊棟、室内訓練やシュノーケル訓練のための10階建ての訓練棟を併設している。

外観は、田園の中に建つ明るい勾配屋根を持つ牧歌的なものとし、周りの緑との調和を図っている。

工業技術センター（現：工業技術総合センター）

所在地
構造規模
基礎地業

栗太郡栗東町上砥山 2 3 2 (現:栗東市)
R C造地上 5階
既製高強度鉄筋コンクリート杭 (プレオーガー工法)

延床面積 5,398.99㎡
工期 昭和59年7月～昭和60年3月



当施設は、電子、機械、化学、食品、デザイン等広範囲な分野で県内企業の技術革新を支援する施設として、試験研究、相談指導、研修を実施している。

建物は高層の研究管理棟を中心に、実験棟を別棟でつなぎ、外観は煉瓦調のタイルと御影石調のポーチにより格調を高めたものとしている。

堅田高等学校セミナーハウス

所在地
構造規模
基礎地業

大津市本堅田三丁目9 - 1

S造地上2階

既製鉄筋コンクリート節杭（セメントミルク工法）

延床面積 512.08㎡

工期 昭和59年10月～昭和60年3月



当施設は、県下の高等学校で課外学習に宿泊研修を取り入れ、また、クラブ活動等の合宿に活用できるように建設されることとなった最初の施設である。校内の限られた敷地の中で利用目的にかなった場所の決定と初めての計画であることから建築計画にも学校側と建築担当者の度重なる協議が続けられた。

建物は、1階に食堂とミーティングを兼ねた部屋と浴室、洗濯室が設けられ、2階部分に宿泊室を利用目的にあわせ大小区分して設けられた。

外観は、勾配屋根と下見板の外壁で構成され、校舎とは異なったくつろげる雰囲気建物とされた。

畜産技術センター

所在地
構造規模
基礎地業

蒲生郡日野町山本695

RC造地上2階

直接基礎

延床面積 1,143.64㎡

工期 昭和60年3月～昭和61年3月



当施設は、蒲生郡日野町に、県内の畜産営農の飼育管理技術の指導研究、家畜の改良技術研究等を主な業務とし、後継者や地域リーダーの養成を行うため建設された。

建設地は、鈴鹿山系につながる丘陵地で、周囲には放牧場が点在する牧歌的な環境の中にあるため、外観はマンサードの大屋根に間伐材利用の外壁が採用された。

県庁新館・公文書センター

所在地
構造規模
基礎地業

大津市京町四丁目1-1
SRC造地上7階地下1階
場所打ち鉄筋コンクリート杭

延床面積 11,592.73㎡
工期 昭和60年10月～昭和62年10月



県庁新館は県庁の執務空間の不足解消のため、また、公文書センターは情報公開に向けての文書の保存と情報提供に対応するため、それぞれ建設されたもので、隣接する既存庁舎との整合が図られている。

県庁新館は、既存庁舎に接続して執務各室を配置し、7階には各種研修、講演などが可能な大会議室を設けた。また、公文書センターとしては、情報関係諸室、収蔵庫、集配諸室等を設けた。

婦人センター（現：男女共同参画センター）

所在地
構造規模
基礎地業

近江八幡市鷹飼105-5
RC造一部S造地上2階
既製高強度鉄筋コンクリート杭（セメントミルク工法）

延床面積 3,832.85㎡
工期 昭和60年10月～昭和61年9月



当施設は、女性の自主的な学習、交流をはじめ、さまざまな社会活動の拠点として、相互の連帯を深め、資質の向上を図るための施設であり、JR近江八幡駅に近い交通の便利なところにある。

外観は、信楽焼タイルを外壁に使用し、段葺き勾配屋根とし、おおらかな広がりを持つまとまりのあるものとなっている。

内部は、研修、集会に利用されるホールや図書室、芸術創作活動を発表する場となるギャラリーを併設している。

文化産業交流会館

所在地
構造規模
基礎地業

坂田郡米原町下多良二丁目137（現：米原市） 延床面積 10,553.33㎡
RC造、SRC造地上5階 工期 昭和61年3月～昭和63年1月
既製高強度鉄筋コンクリート杭



当施設は、県の文化向上と産業振興の拠点として講演会、産業フェア、屋内スポーツから日常的な文化活動まで、多種多様な催しを行うことが出来る施設として建設された。場所は米原駅に近い琵琶湖側に位置し、米原町公民館に隣接している。

内部施設は、2,000人収容のイベントホールを中心に、小劇場、文化教室や、国際的な会議の出来る同時通訳機能を持った会議室のほか、大小の区分ができる会議室を備えている。そのほか、文化情報の発信や、海外渡航手続きの機能もあわせて持たせ、湖北地域への行政サービスを補完することとした。

建物の外観は、ダークグリーンの樹脂鋼板段葺きの寄せ棟とし流麗さを持たせ、外壁には淡い信楽焼タイルを使用して屋根面との調和を図ったものとなっている。

国際情報高等学校

所在地
構造規模
基礎地業

栗太郡栗東町小野（現：栗東市） 延床面積 14,274.18㎡
RC造地上3階 工期 昭和61年6月～昭和63年3月
既製高強度鉄筋コンクリート杭（オーガー併用工法）



本校は、21世紀に向けての国際化、情報化に対応できる国際人、産業人を育成を基本理念として新設された県下に類のない新しいタイプの産業高等学校である。建設地は旧栗東町の小高い山間で、緑豊かな閑静な環境である。

建物は、従来の高校施設のイメージから脱脚したユニークな建物とするため、外壁の仕上げにも格調ある素材が選ばれ、煉瓦調信楽焼二丁掛けタイルと御影石調のボードや丸柱で雰囲気を高めたものとなっている。

内部も、玄関に続く二層吹き抜けの多目的ホールが建物全体の風格を高めており、生徒、父兄をはじめ来校者に好印象を与えるものとなっている。

八坂（彦根）県営住宅

所在地
構造規模
基礎地業

彦根市八坂町頭無1956-5
R C造地上4階
既製高強度鉄筋コンクリート杭（セメントミルク工法）

延床面積 3,206.86㎡
工期 昭和62年3月～昭和63年8月



滋賀県第5期住宅建設5ヶ年計画に基づき、既存の県営住宅の建替えを進めるため、移転用住宅として建築したものである。

1階には、滋賀県営住宅で初めての試みとして、身体障害者用の住宅を2戸配置した。

小児保健医療センター

所在地
構造規模
基礎地業

守山市守山町120-6
R C造地上3階地下1階
既製高強度鉄筋コンクリート杭（ロータリー貫入工法）

延床面積 9,411.20㎡
工期 昭和61年9月～昭和62年11月



当施設は、子供の病院の役割と高度な精密検査や保健サービス機能を持つ保健指導部門と、専門医療部門を両輪とする総合医療センターとして建設された。建設地は、琵琶湖の南部守山市の成人病センターに隣接する場所にあり、将来医療関連施設が整備されていく予定の一角に位置している。

建物は、「子供のホテル」をメインテーマに病院らしくない病院としてイメージされ、ゾーニングにあわせて緑色のピラミッド型の屋根を配置し、内部にも光庭を設けて自然の光を取り入れた明るい環境を持たせるものとした。

建物の構成は、診察や保健指導等の外来部門を1階、病棟を2階、手術部門、中央材料室等は3階にそれぞれ配置している。

醒井養鱒場管理研修棟

所在地
構造規模
基礎地業

坂田郡米原町上丹生（現：米原市）

延床面積 820.05㎡

R C造、S造地上2階

工期 昭和62年9月～昭和63年3月

既製高強度鉄筋コンクリート杭（打撃併用工法）



当施設は、老朽化した既存木造の管理棟の改築に併せて鱒の養殖の研究機関としての研究諸室および内水面漁業に関する知識普及のための研修施設である。

豊かな自然と水系に恵まれた山あいの施設として、外観は環境にマッチするように大きな庇の落ち着いた色調の勾配屋根と板材を使った外壁面で仕上げられている。

内部の展示コーナー、研修室等は見学者に明るい印象を与える素材を用いている。

長浜高等学校セミナーハウス

所在地
構造規模
基礎地業

長浜市平方町三反田270

延床面積 500.00㎡

S造地上2階

工期 昭和62年9月～昭和63年3月

既製高強度鉄筋コンクリート杭



長浜市街地のはずれにある同校は、琵琶湖に近いJR北陸線に沿った位置にある。

雪国に暖かみを感じさせる外観として計画され、カラー鋼板の大屋根と杉板貼りの外壁化粧筋交い等が山小屋風のイメージを醸し出しており、校舎棟とはひと味違った雰囲気となっている。